



創造・感謝・勤労

飛 幡 中

2018年度

北九州市立飛幡中学校 学校通信

平成30年11月19日 No. 17

発行責任者 校長 池 浩幸

学校所在地 戸畑区小芝一丁目8番20号

TEL093-882-3652 FAX 882-3618

【 秋一色、さあ明日からいよいよ期末考査！】

11月も下旬になってきました。中庭のイチヨウの葉もすっかり紅葉をし、毎日落ち葉で埋め尽くされています。もう冬はすぐそこまで来ています。



さて、2学期もあと1か月ほどで終わります。その締めくくりであるテストが明日から始まります。特に、3年生にとっては、中学校3年間の中でも最も重要な考査となります。日々進路に向けて頑張っていることと思いますが、この期末考査は9教科すべてに最大の頑張りを必要とします。「不安」な気持ちはもちろん、「苦しさ」も皆、誰もが同じです。避けては通れないこの時期、自分の進路に真剣に、真正面から取り組んでください。「真っ向勝負！」の時期です。

つつい結果を求めがちですが、何よりも「取り組む」ことが大事なのです。結果を恐れず、やるべきことを一所懸命にやる！「やればできる！」です。頑張れー！

※ 考査時間割

11月20日（火）：音楽・英語・技術・家庭（給食なし）

21日（水）：理科・美術・数学（給食なし）

22日（木）：保体・社会・国語（給食あり）

※ 人生は思い通りになるものは少ないと思います。身の回りのほんの小さなことから将来の夢などの大きなことまで、そのゴールにたどり着くまでには動けばすぐに結果が出るものばかりではありません。そのことを一番実感できるのが「勉強」ではないでしょうか。

自分の欲しい結果に行き着くまでに、どうぞ、「上手いかない、結果が出ない」経験を積んでください。そうすれば、心の根を大きく広げた大きな樹になって、それぞれが「笑顔」で周りの人に安らぎを生む木陰を与えることができるでしょう。

そういう人間になってくれることを強く願います。

静思の時

露天の広い湯船にゆったりとつかり、思いきり手足を伸ばす。風が木々を揺らし、頬を撫でる。“ああ、気持ちいい”。縮こまり、凝り固まった心と体がゆっくり解きほぐされてゆく。いつ以来だろう、こんなのにのんびりするの。

思えばこの一年、何と慌ただしく過ごしてきたことか。立ち止まることなく、目の前のこと、日常の仕事にひたすら取り組んできた。それはそれで充実した日々ではあったが、そのために、多くのものを置き去りにしてきたのも事実。

しばし沈思の時をもとう。よかったこと、よくなかったこと、過ぎ去りし一年を顧みよう。思い返せばうまくいったことばかりではなかった。失敗したことも一つや二つではない。しかし失敗するのは、もっと成長できる、まだ伸び代があるということでもある。そう、思いを定め、失敗を無駄にせず、次に生かして、より高みを目指してゆけばよい。

年の暮れ。ゆく年くる年の準備に追われる時ではあるけれど、こういう時期だからこそ、一年のけじめをつけ、来るべき年に希望をつなげるために、去りゆく年を振り返る静思の時を大切にしたい。

（PHPより）

この一年

今日一日、我ながらよく頑張った、と思える日の気分は爽快である。朝から晩まで息つく暇なしで疲れてはいても、しばしくつろぐひとときに、自分で自分をいたわってやりたいような、ホッとした充実感、やすらぎが心にひろがってくる。

もちろん、思いが足らず、力が及ばず、だから一日頑張った成果も今ひとつ、ということも少なくないのが、お互いの実際の毎日である。

けれども、そんな中でもやはり大事なのは、及ばずながらもとにかく一所懸命、根かぎりに力を尽くすということ、そこから得られるさわやかな気分は、何ものにもかえがたい。そして、そうした地道に力を尽くす日々の中からこそ、人生の真の喜びや生きがい、自分の着実な成長といったものも、しっかり生み出されてくるのではなからうか。

今年もやがて、年の暮れの鐘が鳴る。あわただしい時の流れの中で一段と忙しく過ぎゆく日々ではあるけれども、暫時心を静めて、歩み来た道をかえりみてみたい。

この一年、どれだけの力を尽くし得たか。どれだけの喜び、満足を味わい得たか。

(PHPより)